

国内マダムグループの環境負荷の全体像 (2024 年度実績と前年度比)

【工場、オフィス・研究所】

【エネルギー投入量】

110,300 GJ	(103.2%)
〈電力〉 10,133,464 kwh	(103.0%)
〈ガス〉 LPG 93,544 m3	(108.6%)
都市ガス 12,954 m3	(91.7%)
〈ガソリン〉 8 kl	(84.4%)
〈灯油使用量〉 0 kl	—
〈軽油使用量〉 0 kl	—
【上水】*1 70,556 m3	(101.4%)
【工業用水】 2,126 m3	(107.3%)
【製品中味原料】 PRTR成分使用量 225 t	(113.8%)
その他原料使用量 10,613 t	(133.4%)
【容器包装資材】 容器包装リサイクル法対象*2 4,107 t	(102.3%)
その他*3 3,435 t	(93.2%)

(備考) 外注加工を含まず



【工場、オフィス・研究所】

【CO2排出量】 スコープ1 602 t-CO2 (106.9%) スコープ2 3,354 t-CO2 (100.9%)
【排水】*1 30,202 m3 (101.6%)
【廃棄物】*4 ● 福岡工場 3,106 t (117.1%) ● 本社・研究所 42 t (105.6%) ● 国内営業拠点 1 t (100.0%) ● その他 552 t (101.8%)
【硫酸化合物 (Sox) 排出量】 0 kg
【窒素化合物 (Nox) 排出量】 0 kg
【ばいじん排出量】 0 kg

廃棄物最終処分量	12.44 t	(189.5%)
● 福岡工場	0.00 t	—
● 本社・研究所	0.00 t	—
● 国内営業拠点	0.00 t	—
● その他	12.44 t	(189.6%)

産業廃棄物再資源化率	99.7%	(99.9%)
● 福岡工場	100.0%	(100.0%)
● 本社・研究所	100.0%	(100.0%)
● 国内営業拠点	100.0%	(100.0%)
● その他	99.6%	(99.8%)

注：その他は、返品商品および販促物産業廃棄物処理によるもの
() は事務系一般廃棄物を含んだ場合の再資源化率

福岡工場・物流での産業廃棄物 リサイクルの現状		
● マテリアルリサイクル	1,059 t	(118.9%)
● ケミカルリサイクル	0 t	—
● サーマルリサイクル	2,624 t	(117.7%)
● 埋め立て量	0 t	—

【物流・輸送】

【エネルギー (トラック、鉄道、船舶)】 29,219 GJ	(93.9%)
【軽油使用量】 758 kl	(93.8%)
【重油使用量】 10 kl	(107.2%)

【営業活動】

【ガソリン】 31 kl	(91.2%)
〈灯油使用量〉 0 kl	—
〈軽油使用量〉 0 kl	—

【物流・輸送 (スコープ3・カテゴリ4)*5】

【CO2排出量】 2,069 t-CO2	(94.1%)
-------------------------	-----------

【営業活動 (スコープ1)】

【CO2排出量】 70 t-CO2	(91.2%)
----------------------	-----------

【お客さま】

【廃棄物 (商品使用後の容器包装など)】 16,540 t	(116.5%)
【その他 (商品の中味利用による排出など)】 1,290 t	(110.2%)

※1 上水使用量および排水量は、営業拠点を除く (データ入手困難)

※2 ガラス製、紙製、プラスチック製容器など

※3 容器包装資材には流通資材は含まず (データ算出困難)

※4 廃棄物には産業廃棄物のほか返品商品 (大気放散含) や販促物を含む

※5 AIST-IDEA Ver.3.5 標準版 (2025/04/15) 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEAラボ の排出係数を使用し算出